

募集期間

令和4(2022)年
3月1日(火)～
3月31日(木)

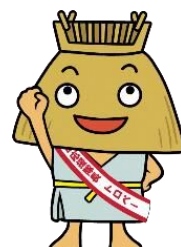
静岡市の未来を
一緒に考えましょう！

“2030年”に向けた静岡市のまちづくりについて

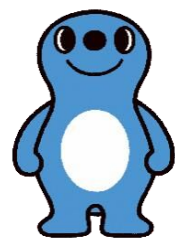
皆さんのご意見を
聞かせてください！！



葵区PRキャラクター
あおいくん



駿河区応援隊長
トロパー



清水区広報キャラクター
シズラ

第4次静岡市総合計画 (2023～2030年度)

「基本構想」・「基本計画」 骨子案への意見募集

令和5(2023)年3月に、静岡市が目指すまちの姿や進むべき方向性を示す「第3次静岡市総合計画(2015～2022年度)」が終期を迎えるため、市では新たな計画となる「第4次静岡市総合計画」の策定を進めています。

このたび、計画の骨子案を作成したため、広く市民の皆さんのご意見を伺うためのパブリックコメントを実施し、計画の内容に反映させていきます。



総合計画の策定目的など



総合計画って??
聞いたことはあるけどどういうものなの？


総合計画とは、地方自治体が総合的、計画的に行政運営を行っていくための最も基本となる計画です。

長期的な視点に立って、まちの目指す姿を定め、その実現に向けた取組などを示す、いわばまちづくりの羅針盤の役割を担う計画であると言えます。

また、人口減少、少子高齢化等に伴い、地方自治体の行財政状況が厳しさを増す中で、適正なマネジメントを行いながら、持続的な都市経営を進めていくための指針としての性格も持ち合わせています。

本市では、平成17年の政令指定都市移行に合わせ、地方自治のあり方やまちづくりの方向性を定める「静岡市自治基本条例」を制定しました。

この条例の規定に基づき、まちづくりの目的及び理念を具体化させるための総合計画を策定し、市政運営を行っています。



市民にとっても、大切な計画なんだね。
これまでの総合計画では、どういう取組をしていたの？

現在の総合計画は、平成27(2015)年に策定した、「第3次静岡市総合計画」(3次総)です。

3次総では、「世界に輝く静岡の実現」をまちづくりの目標に掲げ、目標を達成するための最重要政策である「5大構想」を中心に取り組んできました。

【3次総「5大構想」】

静岡市が有するオンリーワンの資源を最大限に活用し、みがきあげ、まちの価値創造力を高めるための政策

- 歴史文化の拠点づくり【静岡都心】
- 海洋文化の拠点づくり【清水都心】
- 教育文化の拠点づくり【草薙・東静岡副都心】
- 「健康長寿のまち」の推進
- 「まちは劇場」の推進



私たちはどういった意見を出せばいいの？

総合計画は、市が勝手に作るものではなく、市民の皆さんと力を合わせてまちづくりを進めていくための計画です。

「私が住む静岡市がこうなったらいいな」、「もっとこういうまちにしてほしい」という視点でご意見をいただき、より良い総合計画を作っていきますよ！



市長ミーティング室の様子(R3.10)



庁内検討部会の様子(R3.11)

「基本構想」・「基本計画」 骨子案 概要

～静岡市基本構想案～

1 策定の趣旨

時代は今、かつてないほどの目まぐるしい速さで変化を続けています。世界情勢は刻々と変わり、地球規模での気候変動を始めとする環境問題や、我が国の人口減少、少子高齢化は、深刻さを増しています。こうした変化に対応するため、様々な科学技術の発展が進み、私たちの生活や働き方を大きく変容させています。この先も、世の中で起こる変化に対して、私たちは柔軟かつ迅速に対応していかなければなりません。

しかし一方で、どれだけ技術が進歩し、社会環境が変化したとしても、私たちが内面に秘める本質や人間らしさを求める思いは変わることはありません。私たちは今、形あるものに価値が置かれ、その豊かさが重視された成長・拡大の時代を抜け、情報や体験、心の豊かさといった新たな価値観のもと、個人の幸せを追求する成熟・持続可能な時代にいます。

こうした時代において、静岡市が今後、市民のためにどのようなまちを目指すのか。静岡市の未来を切り拓く指針として、基本構想を定めます。

2 まちづくりの目標

静岡市は、静岡県ほぼ中央に位置し、北に標高3,000m級の南アルプスの壮大な山々が連なり、南に水深2,500mの日本一深い駿河湾が広がる、類い稀な自然を有しています。一年を通じた温暖な気候と豊富な日照時間がもたらす住みやすい生活環境の下、長い歴史において、先人たちにより多彩な文化が培われてきました。

古くは登呂遺跡に代表される弥生時代から、今川文化が花開いた室町・戦国時代を経て、大御所徳川家康公の時代には駿府城が築かれました。また、東海道二峠六宿が東西交通の要衝として発達し、現在も地域の核となっています。このような長い歴史と地勢的な利点から、多くの人が行き交い、多様な産業が育まれてきました。

こうした歴史や産業を背景に、“商都”として栄えてきた静岡都心、特定重要港湾の清水港を擁する“港湾都市”である清水都心、教育機関が集積する草薙・東静岡副都心の各拠点が核となり、高度な都市機能を備えた静岡県中部の中枢都市として発展を遂げています。

このように、静岡市は都心部と海・山・川などの豊かな自然、歴史、産業、文化がバランス良く融合した、世界的にも恵まれた都市環境を有し、新しい時代を切り拓く要素を豊富に備えています。

これから静岡市が目指すのは、人口や産業が過度に集積し、時間の流れが急速に進む大都市ではなく、一定の経済力を有しながら固有の歴史や文化、自然と調和した、人々が人生を謳歌できる持続可能な都市です。

市民一人ひとりが幸せに満ちた人生を送り、静岡市の地域資源（静岡らしさ）を最大限に活かすことで世界に存在感を示す、すなわち『世界に輝く静岡』の実現をまちづくりの目標に掲げます。

3 まちづくりの目標を達成するために目指す都市像

『世界に輝く静岡』の実現を達成するために、以下の2つの都市像を目指します。

- ～静岡市が擁する地域資源を磨き、輝かせ、世界から注目され、人々が集まるまち～
- ～静岡市に暮らす市民一人ひとりが、輝いて、自分らしい人生を謳歌できるまち～

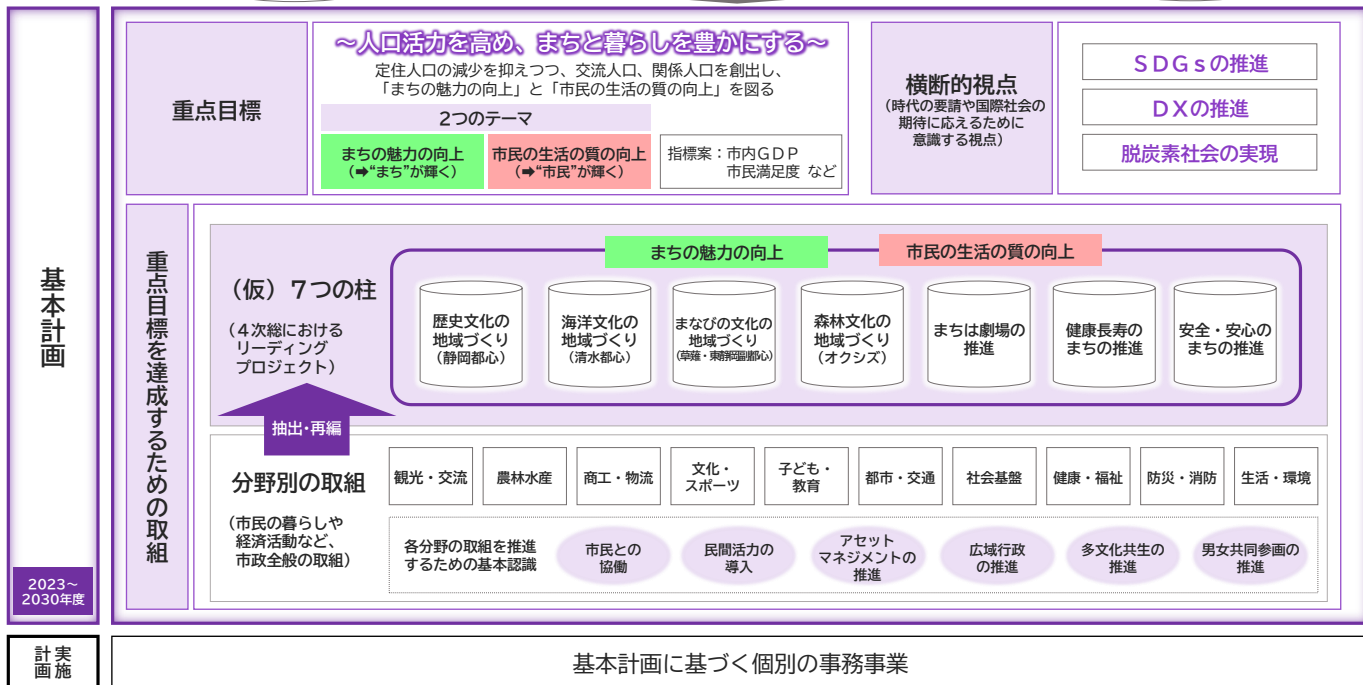
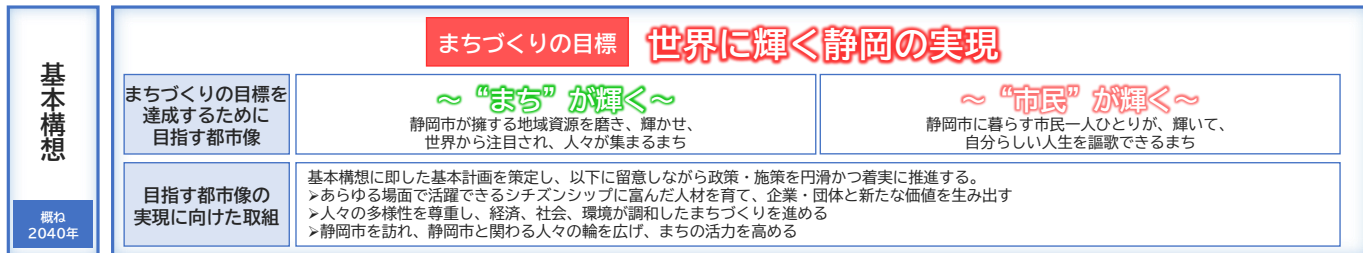
4 目指す都市像の実現に向けた取組

目指す都市像を実現するために、この基本構想に則した基本計画を策定し、政策・施策を円滑かつ着実に推進していきます。推進にあたっては、市民、企業、行政が互いに手を取り合い、あらゆる場面で活躍できるシチズンシップに富んだ人材を育て、新たな価値を生み出しながら取り組んでいきます。

加えて、国籍や性別、障がいの有無など、人々の多様性を尊重しつつ、私たちが暮らす地球の豊かな環境や生態系を守りながら、経済、社会、環境が調和したまちづくりを進めます。

そして、静岡市を訪れ静岡市と関わる人々の輪を広げ、まちの活力を高めていきます。

第4次静岡市総合計画 構成（案）



計実施

ご意見・アイデアなど

お待ちしております!!

意見募集期間

令和4(2022)年3月1日(火)から3月31日(木)まで

閲覧(配布)場所

- (1)企画課(静岡庁舎新館9階)
- (2)各区の市政情報コーナー
(葵区/静岡庁舎新館1階 駿河区/駿河区役所3階
清水区/清水庁舎4階)
- (3)各生涯学習センター、生涯学習交流館及び図書館
- (4)静岡市ホームページ
(https://www.city.shizuoka.lg.jp/750_000251.html)



静岡市ホームページ

意見提出方法

期間内に、意見応募用紙を次のいずれかの方法でご提出ください。

静岡市 4次総



郵送

〒420-8602
静岡市葵区追手町5番1号 企画課 あて

ファクシミリ

FAX番号 054-221-1295

持参

静岡市役所 静岡庁舎新館9階 企画課

電子申請

応募専用フォームからご提出ください。
(<https://logoform.jp/form/79j2/62634>)



電子申請フォーム



静岡市 企画局企画課 政策企画・調整係

(電話:054-221-1002 FAX:054-221-1295 メール:kikaku@city.shizuoka.lg.jp)